

# CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三田市三輪1丁目学生寮計画	階数	地上5F
建設地	兵庫県三田市三輪1丁目163-1,167	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、法22条区域	平均居住人員	156 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年10月20日
敷地面積	2,099 m <sup>2</sup>	作成者	吉村 耕一郎
建築面積	1,081 m <sup>2</sup>	確認日	2022年10月21日
延床面積	3,340 m <sup>2</sup>	確認者	鷲田 員利



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

3(保健) 1.9, 4(教育) 1.6, 5(エンターテインメント) 1.0, 6(水・衛生) 1.5, 7(エネルギー) 1.5, 8(経済・雇用) 1.9, 9(インフラ・交通) 2.0, 11(都市) 1.9, 12(生産・消費) 2.0, 13(気候変動) 2.0, 15(陸上資源) 1.4, 17(実施手段) 1.6

\* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境 3.0, 温熱環境 2.0, 光・視環境 3.0, 空気質環境 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

機能性 2.6, 耐用性 2.6, 対応性 2.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境 2.0, まちなみ 4.0, 地域性 2.0

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物外皮の N.A., 自然エネ N.A., 設備システ 3.0, 効率的 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源 2.2, 非再生材料の 3.4, 汚染物質 2.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化 2.9, 地域環境 3.0, 周辺環境 2.5

3 設計上の配慮事項		その他
総合	良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。	
Q1 室内環境	耐用年数の長い配管を採用して更新間隔ができるだけ長くなるよう配慮した。	敷地内に適切に緑化を施すことで地表温度上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー	GL工法により、躯体と仕上材を容易に分別可能とし、部材の再利用可能性向上に配慮した。	適切な量の駐車場を設置して交通負荷の抑制に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される